

3 - 3 1986年6月24日房総半島南東沖の地震

The Earthquake off Southeast Coast of the Boso Peninsula, June 24, 1986

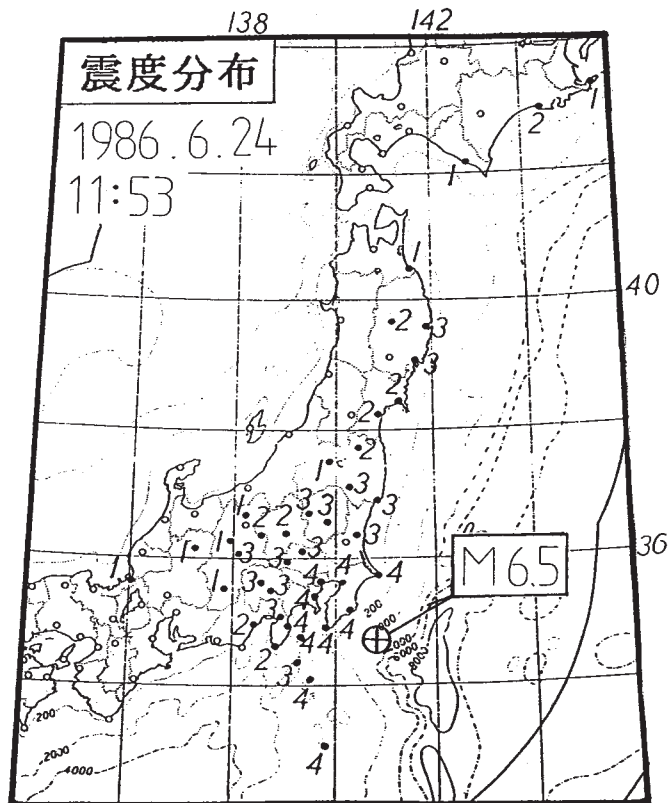
気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1986年6月24日11時53分頃、房総半島南東沖(34°49.4'n・140°43.2'e・深さ73km・OT11時53分09.7秒)でM6.5の地震が発生した。

第1図にこの地震の震央(⊕)および震度分布を示す。最大震度は4(横浜・銚子・勝浦、三宅島・千葉・八丈島・東京・網代・大島)、最大有感距離は1,030km(根室)となった。これは深さが73kmとやや深いためと見られる。第2図に本震および余震の震央分布を示す。今回の地震は房総沖海底地震計(試験運用中)の北側近傍で起こったものとして注目された。特M6.5の本震は、先端部から2番目の地震計BS₂の数キロメートルのところで発生している。図中の日別地震回数グラフは、震源の決定されたものについて示してある。最大余震(M5.1)は翌25日03時45分に発生した(34°52.2'n・140°43.6'e・深さ70km・OT=03時45分30.8秒)。そしてこの活動は7月15日頃にほぼ収まった。有感地震数は計3回である。第3図には海底地震計BS₂で観測した地震の日別回数を示した。6月24日から7月31日までの期間に534個の地震を記録、捕捉率がきわめて良好であることを示した。また、本震および最大余震についてのメカニズム解を示せば、第4図のとおりとなる。③は昨年10月4日に本震の直近で発生したM5.6の地震についてのもので、②の最大余震の解とかなり類似している。①の本震は水平横ずれである。

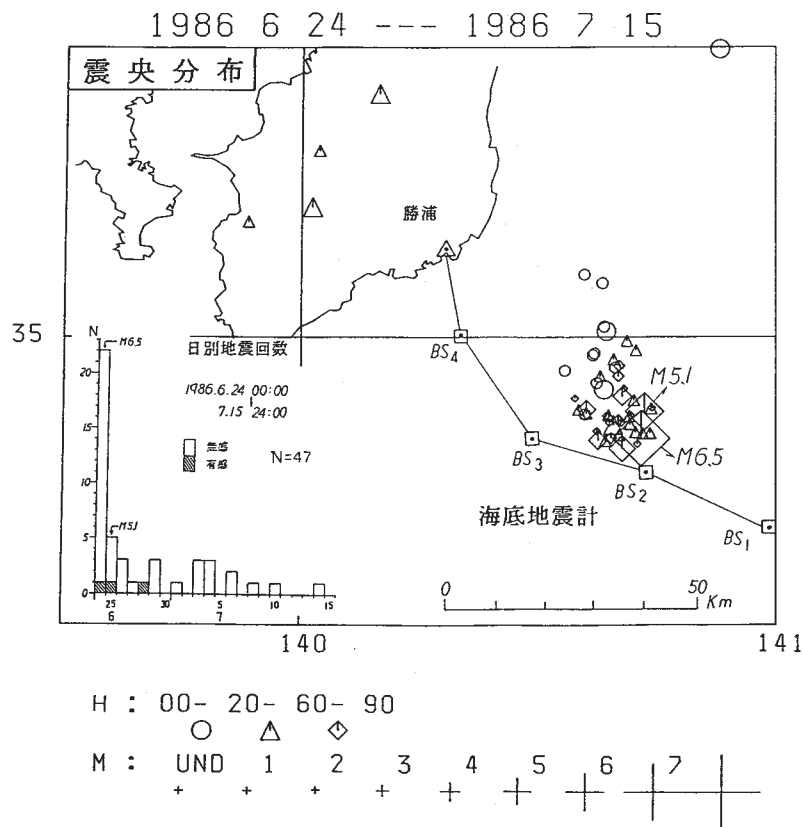
第5図は1926年1月～1986年6月にかけて房総半島沖に発生した地震の震央分布①とそのM-Tプロット②・時空間分布③である。今回の地震の本震位置は☒で示してある。なお、②と③は南東沖エリア(①の内枠の範囲)に限定した。第6図は、通常震源決定に用いる各観測点のデータのほか、三宅島測候所と房総沖海底地震常時観測システムの観測データを取り入れて決定した本震・余震の震央分布①とその断面図②である。第2図に比べてまともりはよく、本震・余震の深さは70kmを中心にまとまったものとなっているが、北東方向に深くなる気配の分布である。

なお、海底地震常時観測システムの詳細については、地震予知連絡会会報第35巻(3-4)を参照されたい。



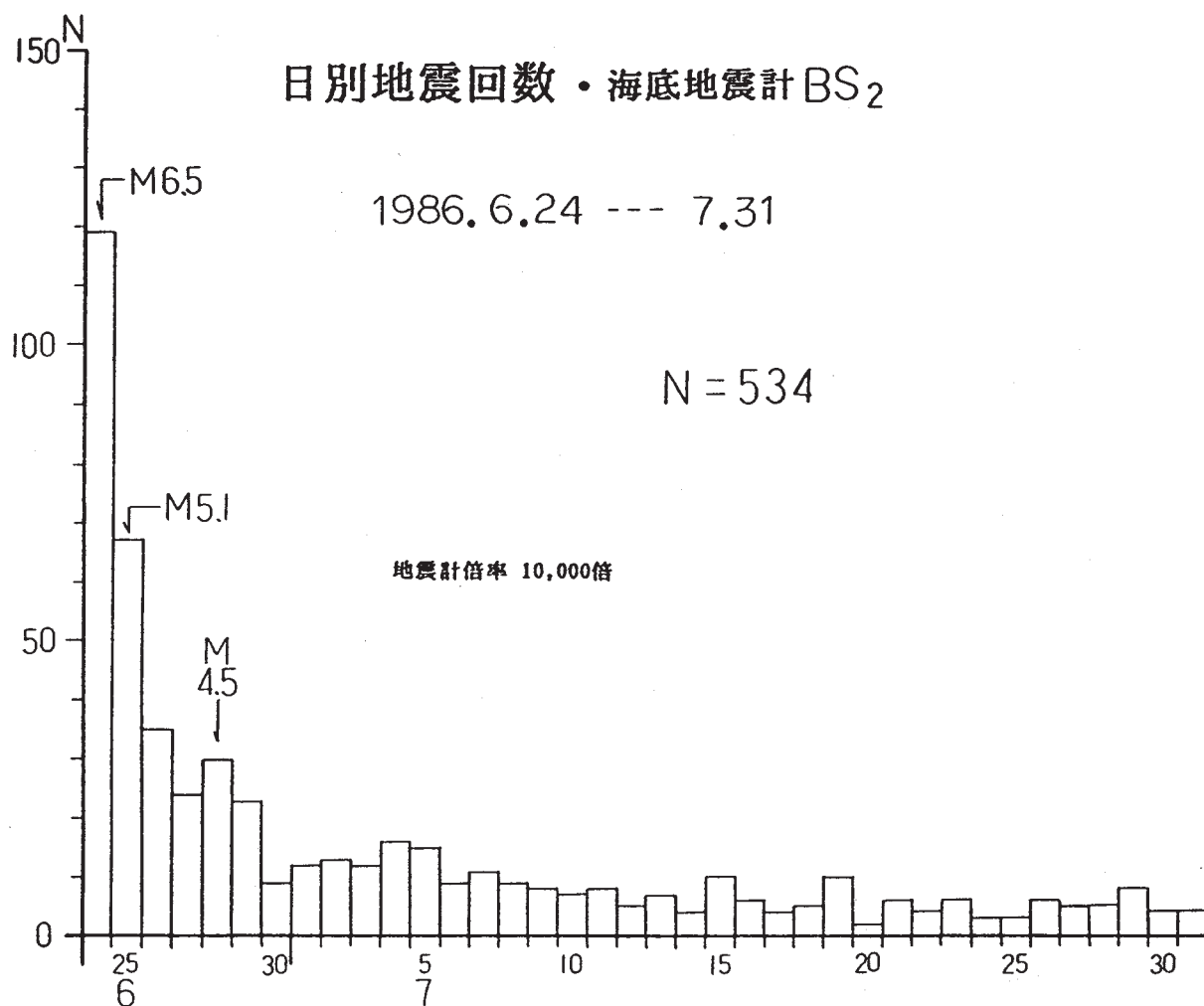
第1図 1986年6月24日房総半島南東沖の地震の震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake off southeast coast of the Boso Peninsula, June 24, 1986.



第2図 1986年6月24日房総半島南東沖の地震の余震分布

Fig. 2 Epicenter distribution of aftershocks of the earthquake off southeast coast of the Boso Peninsula, June 24, 1986.

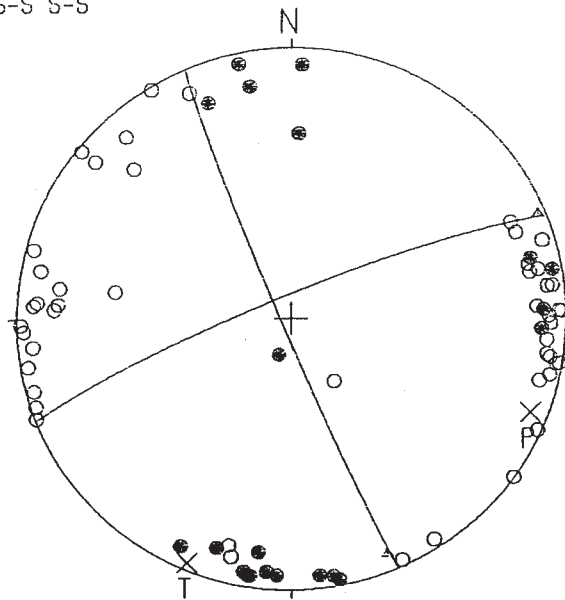


第3図 1986年6月24日房総半島南東沖の地震の日別余震回数（房総沖海底地震常時観測システム・地震計BS₂による）

Fig. 3 Daily number of aftershocks of the earthquake off southeast coast of the Boso Peninsula, June 24, 1986, observed at BS₂ (Permanent Ocean-Bottom Seismograph Observation System off the Boso Peninsula).

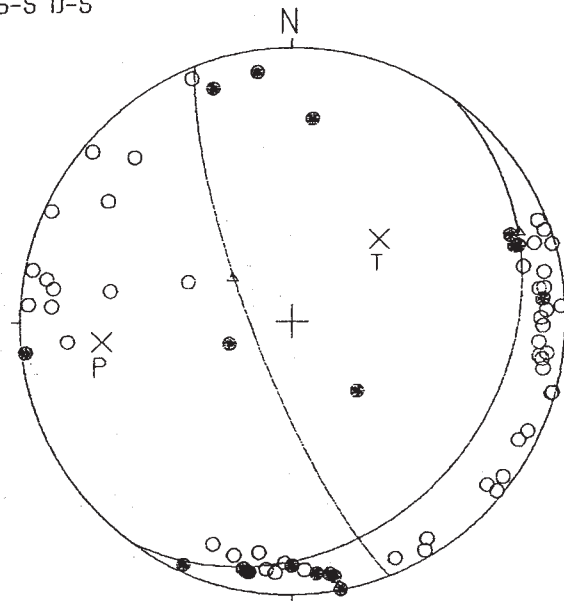
1

24 JUNE 1986 11 53
 LGN.=140 43 LAT.=34 49 H.= 73 MAG.=6.5
 DIP DIR.=202 DIP.=83 DIP DIR.=293 DIP.=87
 P AZ=248 IN=83 T AZ=157 IN=87
 TYPE NORMAL
 S-S S-S



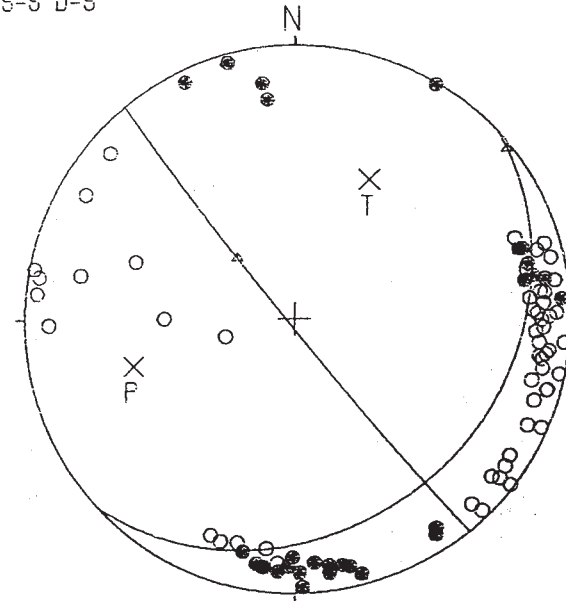
2

25 JUNE 1986 3 45
 LGN.=140 44 LAT.=34 52 H.= 70 MAG.=5.1
 DIP DIR.= 54 DIP.=22 DIP DIR.=291 DIP.=78
 P AZ= 96 IN=60 T AZ=313 IN=36
 TYPE REVERSE
 S-S D-S



3

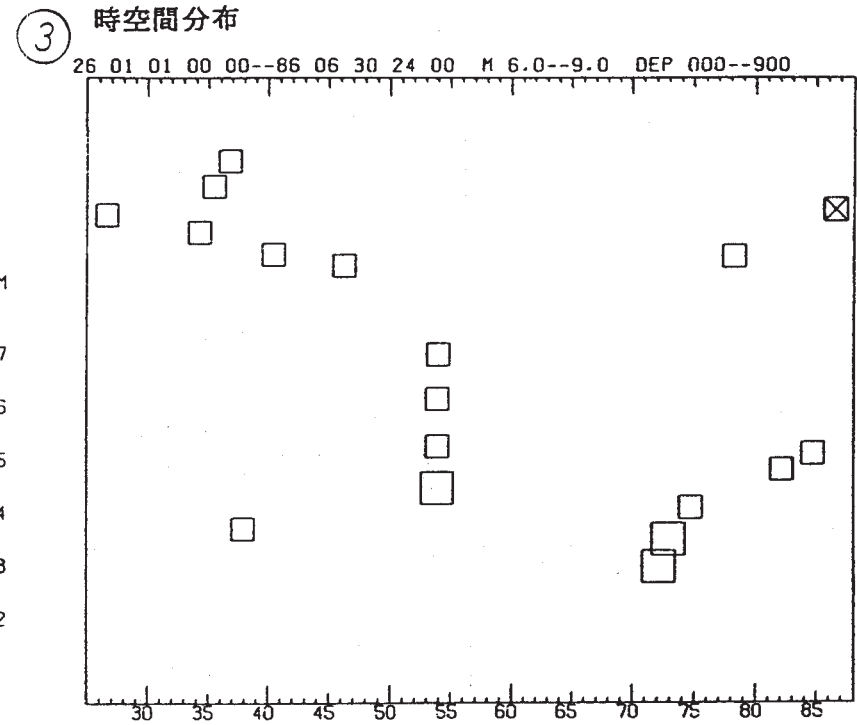
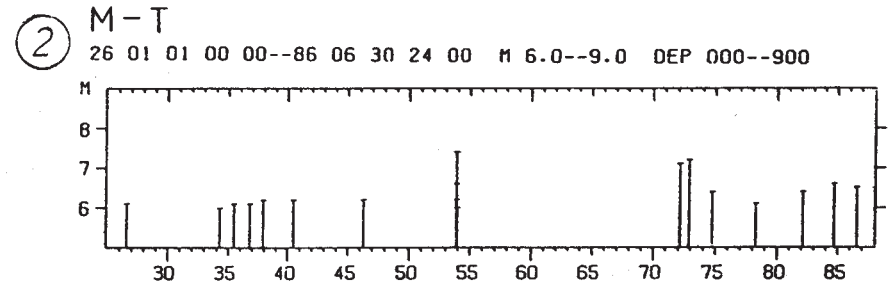
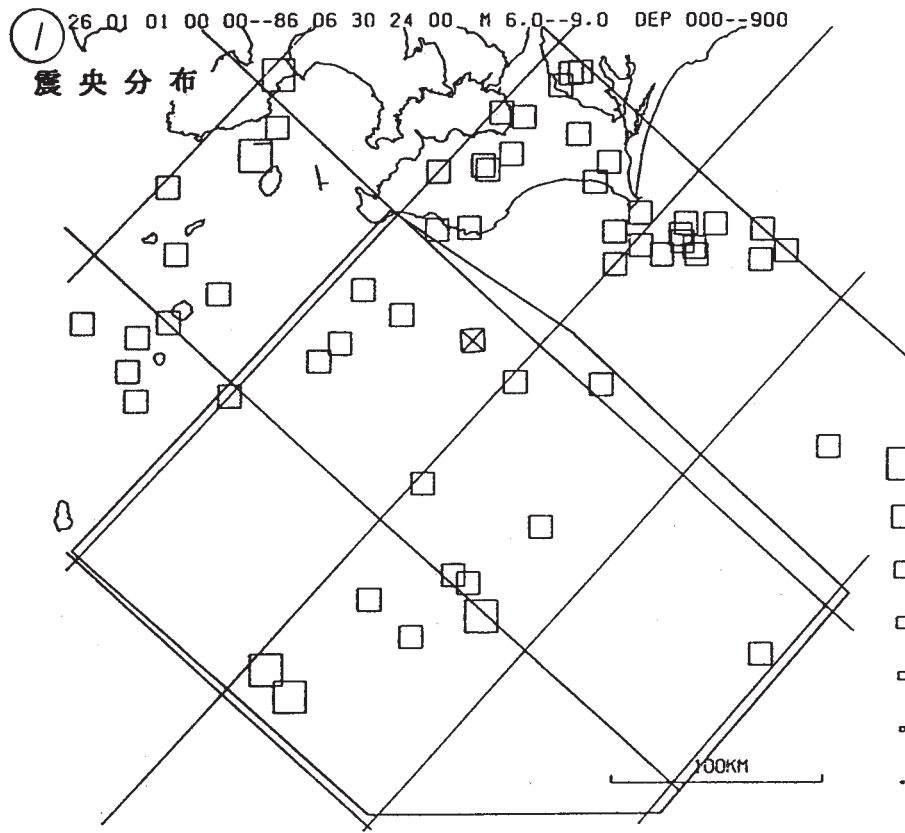
4 OCT. 1985 6 28
 LGN.=140 59 LAT.=34 48 H.= 64 MAG.=5.6
 DIP DIR.= 43 DIP.=26 DIP DIR.=309 DIP.=88
 P AZ=105 IN=52 T AZ=332 IN=46
 TYPE REVERSE
 S-S D-S



第4図 房総半島南東沖の地震のメカニズム解の比較 (上半球投影)

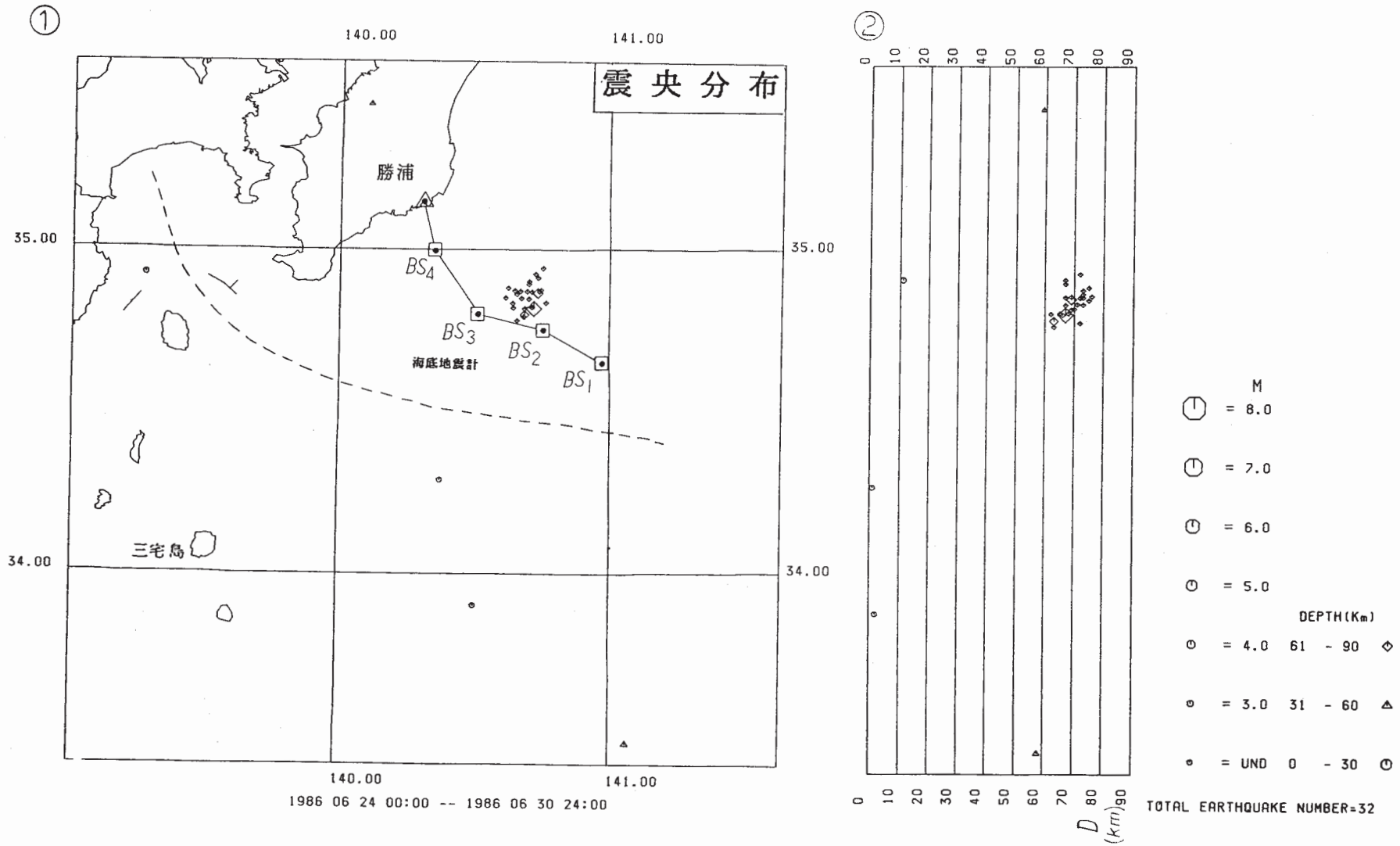
① 1986年6月24日 ② 1986年6月25日 ③ 1985年10月4日

Fig. 4 Comparison of focal mechanisms of the earthquake off southeast coast of the Boso Peninsula (projected on upper hemisphere). 1) June 24, 1986 2) June 25, 1986 3) October 4, 1985



第5図 1926年～1986年の房総半島沖における地震活動 ($M \geq 6.0$)

Fig. 5 Seismic activity in the region off the Boso Peninsula, 1926 - 1984 ($M \geq 6.0$).



第6図 1986年6月24日房総半島南東沖の地震の余震分布 (房総沖海底地震常時観測システムによる)

Fig. 6 Epicenter distribution of aftershocks of the earthquake off southeast coast of the Boso Peninsula, June 24, 1986 (by Permanent Ocean-Bottom Seismograph Observation System off the Boso Peninsula).